

# BUSINESS REPORT

株主・投資家の皆さまへ

第16期 2025.2.1 - 2026.1.31

# 知



丸善CHIホールディングス株式会社

証券コード：3159

## 中期経営計画の 見直しを公表しました

当社グループは、2025年1月期から2029年1月期までの5年間で計画期間としている「中期経営計画」について、経営環境及び当社グループの業況を踏まえた見直しを行い、2026年3月に公表いたしました。



▼ 中期経営計画の変更の詳細はこちらからご覧いただけます。

[https://www.maruzen-chi.co.jp/ja/ir/news/auto\\_20260313581744/pdfFile.pdf](https://www.maruzen-chi.co.jp/ja/ir/news/auto_20260313581744/pdfFile.pdf)



## 2026年 今後のIRカレンダー

6月中旬	第17期 第1四半期決算発表
7月31日	中間日(株主権利確定日)
9月中旬	第17期 第2四半期決算発表
9月下旬 10月上旬	株主様向け「ビジネスレポート」に 株主優待商品券を同封して発送

1単元(100株)以上ご所有の株主様に、  
全国の丸善・ジュンク堂書店の店舗<sup>®</sup>で  
ご利用いただける商品券をお送りいたします。  
※ご利用店舗一覧は当社ホームページにて公開しております。



決算情報や株主優待の詳細は  
当社ホームページをご覧ください。

<https://www.maruzen-chi.co.jp> 丸善CHI

## 株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
基準日	毎年1月31日
株主総会	毎年4月
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告による公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載して行います。
〈公告掲載URL〉	<a href="https://www.maruzen-chi.co.jp">https://www.maruzen-chi.co.jp</a>
上場	東京証券取引所スタンダード市場
証券コード	3159

## 株式事務の取扱場所

株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 電話フリーダイヤル0120-782-031
[郵便物送付先] 電話照会先	
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国各支店

## 住所変更、単元未満株式の買取、 配当金受取方法の変更等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 配当金のお受け取りについて

配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様は、より安全かつ迅速に配当金をお受け取りいただける、口座振込のご利用をおすすめいたします。お手続きについては、上記同様に証券会社もしくは三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

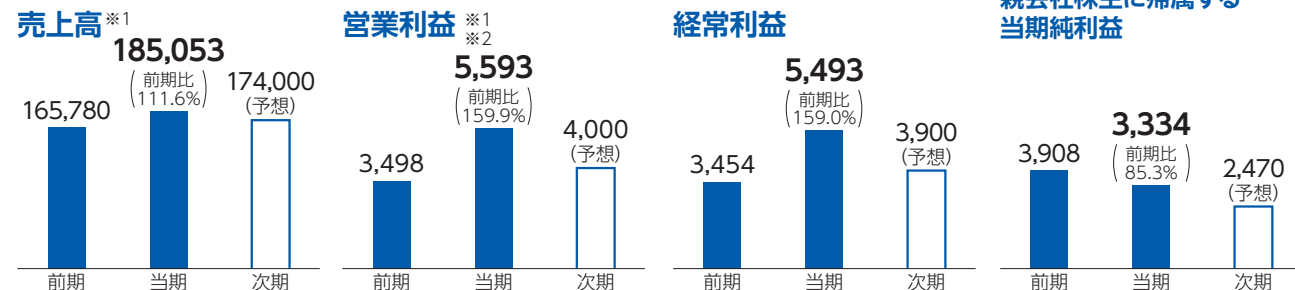


この報告書は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。

この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

## 連結業績サマリー

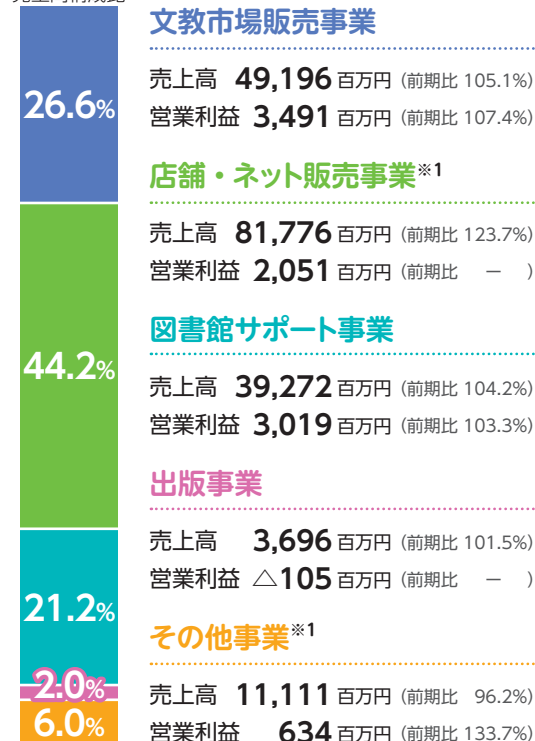
(単位：百万円)



※2 営業利益には、「消去又は全社」を含んでおります。

### セグメント別業績

売上高構成比



#### 文教市場販売事業

教育・研究施設、図書館などの設計・施工における大型案件の完工が増加したこと、また、公共図書館向けの書籍販売が堅調に推移したことに加え、当期よりTRC-ADEAC(株)を新たに連結範囲に含めたこと等により、増収増益となりました。

#### 店舗・ネット販売事業

2025大阪・関西万博オフィシャルストアにおいてグッズなどの販売が好調であったことにより、大幅な増収増益となりました。

#### 図書館サポート事業

図書館受託館数は期初1,840館から11館増加し、2026年1月末時点では1,851館（公共図書館633館、大学図書館240館、学校図書館他978館）となり堅調に推移した結果、増収増益となりました。

#### 出版事業

専門書分野の教科書及びDVD等、また、児童書関連分野が減収となりましたが、発売書・電子書籍・動画配信が増収となったこと等により、売上高は前年並みを確保しました。利益面は原価・販管費の削減に努めましたが、前年並みの営業損失となりました。

#### その他事業

総合保育サービス事業、丸善リサーチ事業は堅調に推移しましたが、パソコンの修理・アップグレード設定等の事業が売上減少となり、減収となりました。営業利益は、丸善リサーチ事業における赤字幅の縮小に加え、原価・販管費の削減に努めた結果、増益となりました。

※1 当期より表示方法の変更を行っており、前期の売上高、営業利益については、当該変更を反映した組替後の数値を記載しております。また、前期比については、前期の数値を組替後の数値と比較しております。

## ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの2026年1月期連結業績は、店舗・ネット販売事業における2025大阪・関西万博オフィシャルストアの販売が大きく貢献し、各事業セグメントも改善や成長が見られ、左記のとおり売上高、営業利益ともに前年を大きく上回る業績となりました。

文教市場販売事業では、大学等教育・研究機関向けの教科書等の書籍販売が厳しく推移したものの、大学図書館等教育施設の設計・施工における大型案件の完工が増加し、増収増益となりました。店舗・ネット販売事業は、2025大阪・関西万博オフィシャルストアの大きな収益貢献とともに、書籍販売がほぼ前年並みで推移したことにより、大幅な増収増益となりました。図書館サポート事業では、公共図書館の受託館数の伸長と、業務効率化により人件費上昇の影響を抑えたことで増収増益となりました。出版事業は、絵本・児童書分野、専門書分野ともに引き続き厳しい市場環境が続き、売上は微増収でしたが、前期に続き営業損失となりました。その他事業は、パソコン・スマートフォンの修理及び各種周辺サービス事業が減収となりましたが、総合保育サービス事業が引き続き成長し、新規事業のひとつである電子専門書籍の読み放題サービス「丸善リサーチ」が順調に会員数を伸ばし、赤字幅が大きく改善したことで、減収増益となりました。

当社グループでは、2025年1月期から5年間の中期経営計画を推進してまいりましたが、2026年3月に中期経営計画の見直しを公表し、誠に遺憾ながら収益目標を下方に修正させていただきました。見直しの理由につきまし

ては、専門書籍販売の減少や想定以上の人件費高騰が既存事業の収益を圧迫したこと、また、新規事業開発やM&A案件開拓に関する体制整備や取り組みに進捗はありましたが、新規事業、M&Aともに中期経営計画期間中での収益寄与は当初計画を下回る水準と判断せざるを得ませんでした。

見直し後の計画では、大学向け専門書籍販売の事業構造の変革、立て直しを喫緊の課題として取り組むと同時に、新たな知の生成と流通に取り組むため、書籍中心からデジタルコンテンツへと事業領域のシフトを加速させます。加えて、店舗・ネット販売事業を中心に高い成長性を示しているIP関連事業に注力することで、より多様なコンテンツを様々な方法や場を活用して展開する構造へと早期にグループ事業モデルを転換させてまいります。株主の皆様には、引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長

五味 英隆



(株)丸善ジュンク堂書店

丸善雄松堂(株)

丸善出版(株)

## 次なる構造転換への道標 丸善創業者の挑戦の軌跡を辿る「早矢仕有的 資料展」を開催



丸善ジュンク堂書店・丸善雄松堂・丸善出版の3社は、創業者・早矢仕有<sup>はやしゆうてき</sup>の没後125周年を記念した資料展を、東京・丸善丸の内本店（1月）と故郷の岐阜（3月）で開催しました。

医師でありながら、実業家として「丸善」を創業しただけでなく、貿易・教育・保険など日本の近代化の礎を築いた早矢仕有<sup>はやしゆうてき</sup>の生涯を初めて真正面から取り上げ、功績だけでなく失敗しても挑戦し続けた足跡について、普段一般公開していない資料を展示したほか講演会も実施しました。東京では2,500人を超える来場者があり、岐阜でも地元の小中学生が訪れるなど盛況を博しました。

明治という激動の時代を駆け抜けた創業者の精神を受け継ぎ、今後もグループ一体となって既存のビジネスに捉われない様々な分野へ挑戦してまいります。

丸善CHIホールディングス(株)

## デジタル技術による書籍の利活用 ITエンジニア向け技術書籍読み放題サービス「TechLib (テックリブ)」の提供開始

2025年12月、テックリブ(株)\*においてITエンジニアのスキルアップをサポートする技術書籍読み放題サービス「TechLib (テックリブ)」の提供を開始しました。本サービスは、2023年にサービスインした会計・税務書籍の読み放題サービス「丸善リサーチ」のサービス形態をIT分野に展開したものです。

TechLibでは、プログラミング言語、AI、情報処理資格試験他、ITエンジニアを対象とした技術書籍を月額定額制で提供しています。このサービスを通じて、ITエンジニアやIT分野を目指す方々のスキル向上を支援します。

サービス開始時には、丸善出版をはじめ、IT系技術書を発行する出版社10社の書籍200冊を掲載しました。今後も提携出版社・掲載書籍の追加や機能拡充を行い、さらなるサービスの向上に努めてまいります。

\*テックリブ(株)は、2025年6月に、当社とIT関連メディア事業を展開する(株)インプレスが本サービスの企画運営を目的として設立した合弁会社です。



(株)図書館流通センター

## 図書館を中心とした提供価値の拡大による、新たな読書体験の創出 「本の甲子園」で地域を元気に



図書館流通センターは、一般社団法人ホンミライ、日本出版販売(株)と共同で、書店・図書館の連携強化、作家と地域の結びつきの強化を目指した新しい文学賞「本の甲子園」を創設しました。

全国47都道府県で働く図書館員が現場の知見を活かして、各地域でエントリーされた地元在住作家の本から1冊を選出し、その後トーナメント方式により日本一を決定します。大賞決定後は、地域の図書館・書店・作家が連携し、様々なイベントを企画・開催するほか、SNS等での発信を行い、読書文化の新たな広がりや地域との関わりを生み出すことを目指します。

市場環境が変化中、図書館運営を通じて地域振興の一助となり得る本取り組みは、次なる成長領域の創出につながるものと捉え、今後も着実に推進してまいります。

丸善出版(株)

## 出版コンテンツの継続発信 『理科年表』創刊100周年 記念講演会の開催

丸善出版は、2025年12月に東京・一橋講堂において、『理科年表』創刊100周年記念講演会「科学のクロニクル 100年の歩み」を開催しました。

国立天文台の編纂による『理科年表』は、1925（大正14）年の創刊以来、1世紀にわたり日本の科学技術の進展を支えてきた歴史と信頼のある科学データブックです。ほぼ毎年刊行を続け、基礎データ・原典として幅広く活用されています。

講演会では、ノーベル物理学賞を受賞した東京大学卓越教授の梶田隆章氏をはじめ、斯界を代表する6名の講師に登壇いただき、各分野の歩んだ道のりや研究の最前線、今後の展望などをお話いただきました。

今後も、科学に携わる多くの方々に長年親しまれている『理科年表』のように、時代を超えて愛される質の高い学術図書の出版に努めてまいります。



写真提供：国立天文台

## 連結財務データ

❖ 財政状態 (単位: 百万円)	当期末	前期末
	(2026年1月31日現在)	(2025年1月31日現在)
総資産	136,895	132,733
流動資産	100,176	98,060
固定資産	36,719	34,673
(有形固定資産)	21,419	20,053
(無形固定資産)	2,480	1,481
(投資その他の資産)	12,818	13,138
負債	82,265	80,991
流動負債	59,490	56,714
固定負債	22,775	24,276
純資産	54,630	51,742
株主資本	53,336	50,290
その他の包括利益累計額	1,093	718
非支配株主持分	200	733

❖ キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)	当期	前期
	(2025年2月1日から2026年1月31日まで)	(2024年2月1日から2025年1月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,804	3,008
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,060	1,745
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 541	△ 2,424
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11	△ 4
現金及び現金同等物の増減額	2,190	2,326
現金及び現金同等物の期首残高	28,311	25,826
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	158
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	5	—
現金及び現金同等物の期末残高	30,507	28,311

決算情報の詳細は、当社ホームページ・財務ハイライトをご参照ください。

<https://www.maruzen-chi.co.jp/ja/ir/finance/highlight.html>



## 株式情報 (2026年1月31日現在)

### ❖ 株式の状況

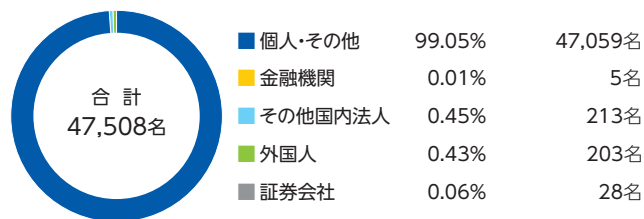
発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	92,554,085 株
株主数	47,508 名

### ❖ 大株主一覧

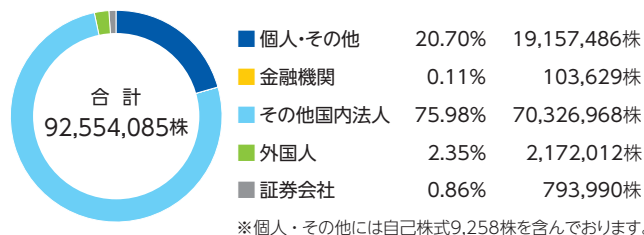
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大日本印刷株式会社	50,828,336	54.92
株式会社フォルトウナ	4,200,000	4.53
株式会社講談社	3,620,000	3.91
株式会社トーハン	3,294,406	3.55
有限会社淳久堂	2,589,600	2.79
株式会社小学館	2,203,500	2.38
石井 昭	1,306,426	1.41
丸善CHIホールディングス従業員持株会	1,030,777	1.11
公益財団法人図書館振興財団	919,368	0.99
丸善CHIホールディングス取引先持株会	900,100	0.97

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### ❖ 所有者別株主分布状況



### ❖ 所有者別株式分布状況



## 会社情報 (2026年4月28日現在)

### ❖ 会社の概況

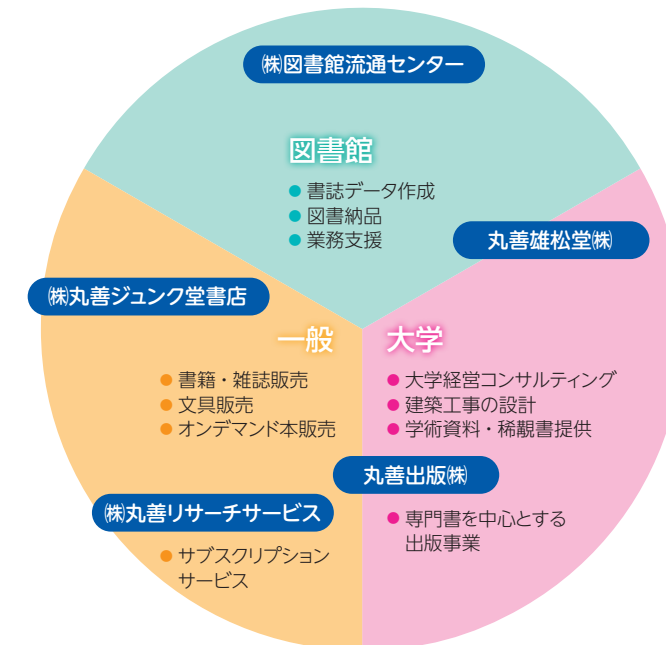
商号	丸善CHIホールディングス株式会社 (Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)
本社	〒162-0837 東京都新宿区納戸町40番地1
代表番号	03-5261-8171
URL	<a href="https://www.maruzen-chi.co.jp">https://www.maruzen-chi.co.jp</a>
設立	2010年2月1日
資本金	30億円
事業内容	書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理 他

### ❖ 役員

代表取締役会長	橋本 博文
代表取締役社長	五味 英隆
取締役	矢野 正也
取締役	西川 仁
取締役	菅野 耕一
取締役常勤監査等委員(社外)	吉田 真一
取締役監査等委員(社外)	舟橋 宏和
取締役監査等委員(社外)	杉田 禎浩
取締役監査等委員(社外)	森 菜穂子

## グループ一覧

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。



丸善雄松堂株式会社	〒104-0033 東京都中央区新川1-28-23 東京ダイヤビルディング5号館10階
株式会社図書館流通センター	〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
株式会社丸善ジュンク堂書店	〒104-0033 東京都中央区新川1-28-23 東京ダイヤビルディング5号館9階
丸善出版株式会社	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階
株式会社丸善リサーチサービス	〒162-0837 東京都新宿区納戸町40番地1